

innex Omni

ユーザーマニュアル

DATE: 2025/12/3

VERSION: 1.0

目次

1	はじめに	4
2	同梱品.....	4
3	製品 に関して.....	5
3.1	各部名称.....	5
3.2	リモコン.....	6
4	設置とセットアップ	7
5	操作方法	9
5.1	基本操作.....	9
5.1.1	プライバシーカバーを使用した電源オン/オフ	9
5.1.2	カメラのみのオン/オフ	9
5.1.3	マイクのミュート/ミュート解除	10
5.1.4	スピーカーの音量コントロール	10
5.1.5	スピーカーのミュート/ミュート解除.....	10
5.1.6	マイク AI.....	11
5.1.7	スピーカー AI.....	11
5.1.8	自動追尾 AI.....	12
5.1.9	デュプレックスモード.....	12
5.1.10	HDR.....	12
5.1.11	OSDミラー	13
5.1.12	Innex Omni レイアウトモードの概要	13

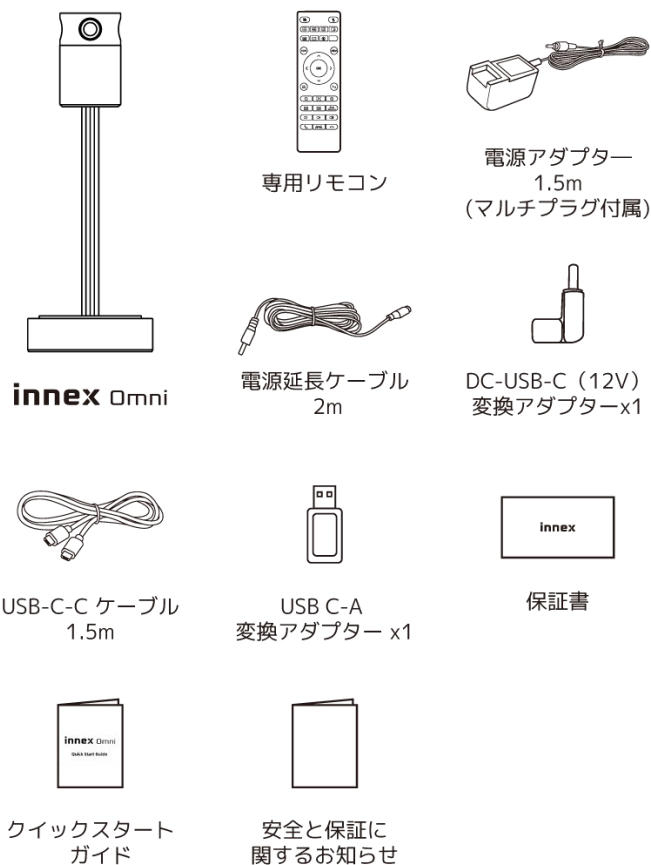
5.2	LED表示の説明.....	14
5.3	カメラモードの説明.....	15
5.3.1	ギャラリーモード.....	15
5.3.2	スピーカトラッキングモード.....	16
5.3.3	スポットライトモード.....	17
5.3.4	ピクチャーインピクチャーモード.....	18
5.3.5	オートフレーミングモード.....	19
5.3.6	対面モード.....	19
5.3.7	フォーカスゾーンモード.....	20
5.3.8	マニュアルモード.....	21
5.4	設定.....	21
5.4.1	ステータスバー.....	22
5.4.2	画像設定.....	22
5.4.3	ブロックゾーン設定.....	24
5.4.4	製品情報.....	25
6	製品仕様.....	27

1 はじめに

Innex Omni は、現代のハイブリッドコミュニケーションを向上させるために設計された、最先端の 360° 会議用カメラです。4 つの 4K カメラモジュールと最先端の AI 技術を搭載し、没入感のあるパノラマ映像体験を提供するとともに、発言者をインテリジェントに追跡し、ナチュラルでエンゲージメントの高い会議を実現します。双方向ノイズキャンセルとカスタマイズ可能なオーディオ/ビデオモードにより、Innex Omni は会議室や外出先など、場所にとらわれずにクリアなコミュニケーションとシームレスなコラボレーションを実現します。

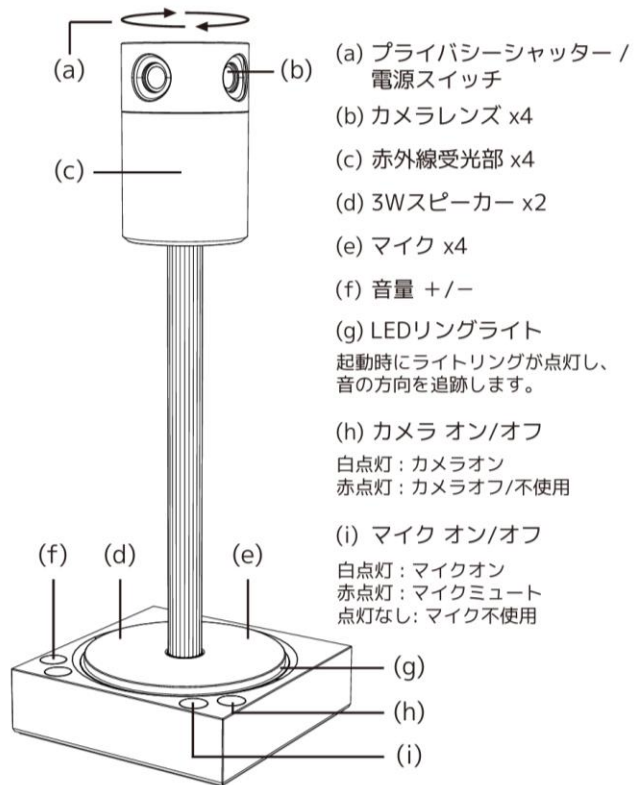
2 同梱品

Innex Omni をご購入いただきありがとうございます。下記と同梱品がセットに含まれていることをご確認ください。

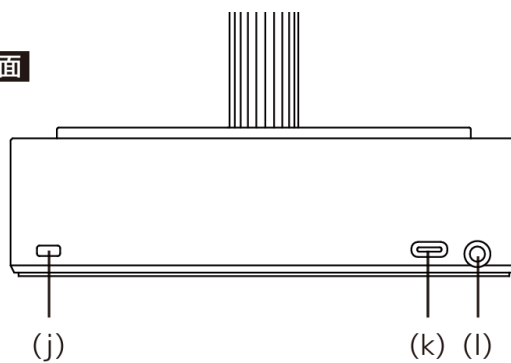


3 製品 に関して

3.1 各部名称



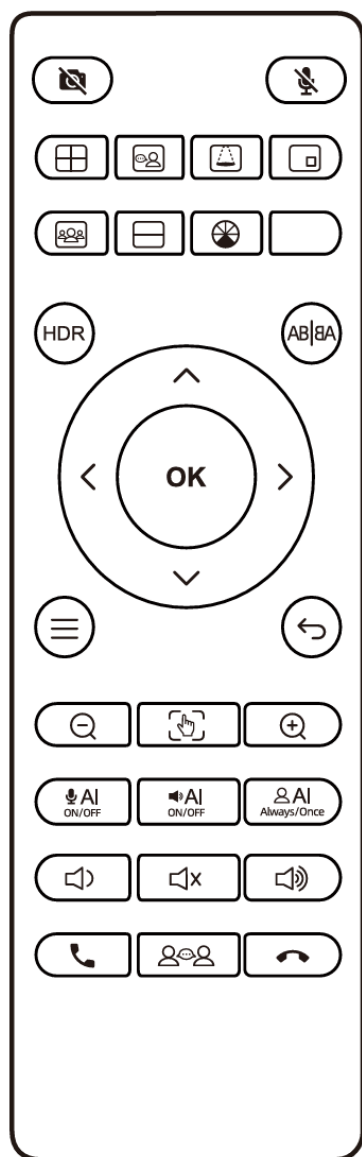
背面



- (j) Kensingtonナノスロット™
- (k) USB-Cポート
- (l) DC入力端子

3.2 リモコン

◇ 注意：リモコンは有効動作範囲（10cm～8m）内でご使用ください。



	カメラ オン/オフ		マイク オン/オフ
--	--------------	--	--------------

	ギャラリー モード		スピーカ トラッキング
	スポットライト モード		ピクチャ イン ピクチャ モード
	オートフ レー ミング モード		対面 モード
	フォーカ ス ゾーン モード		

HDR	HDRオン/オフ	AB BA	OSD ミラー/ ミラー解除
	移動/調整	OK	OK
	メニュー		戻る

	マニュアル モード		ズームアウト
			ズームイン

	マイクAI オン/オフ
	スピーカAI オン/オフ
	オートトラッキング オン/オフ

	音量 -		音量 +
	ミュート		デュプレッ クス オン/オフ
	通話開始		通話終了

4 設置とセットアップ

以下の手順に従い Innex Omni の設置とセットアップを行ってください。

推奨される部屋のサイズと配置

Innex Omni は主にハドルスペースおよび小～中規模の会議室向けに設計されています。最適なオーディオおよびビデオパフォーマンスを得るため、下記の通りに Innex Omni を設置してください。:

- ✓ 会議テーブルの中央、または会議スペースの中央に Innex Omni を配置してください。
- ✓ すべての参加者がマイクの有効收音範囲内、かつカメラの視野角内に座れるようにしてください。
- ✓ 推奨される部屋のサイズを超える大きな部屋やスペースへの設置は、オーディオの收音やスピーカートラッキングのパフォーマンスに影響する場合があります。

適切な部屋環境での正しい配置により、正確な発言者の検出、クリアな音声入力、没入感のあるパノラマ映像体験が可能となります。

ステップ1：デバイスの配置

会議室のテーブルの安定した平らな面に Innex Omni を置いてください。

下を確認してください：

- ✓ デバイスがリモコンの推奨動作範囲内に配置されている。
- ✓ カメラレンズが遮られていない。
- ✓ 設置場所に十分な換気が確保されている。

ステップ2：電源の接続

付属の電源アダプターを Innex Omni に接続し、電源コンセントに差し込んでください。

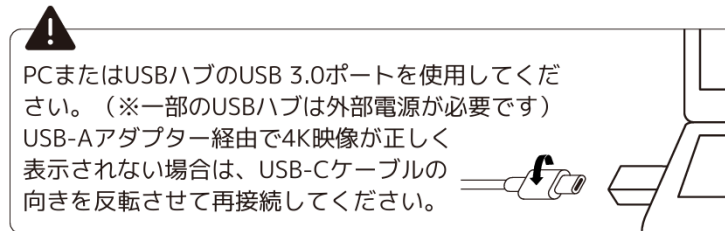
電源コンセントまでの距離が付属の電源アダプターの長さを超える場合は、付属の電源延長ケーブルを使用して最大3メートルまで延長できます。

付属の電源アダプターおよびアクセサリのみを使用してください。

ステップ3：PCへの接続

付属のUSB C-Cケーブルを使用してInnex Omniをパソコンに接続してください。

パソコンにType-A USBポートのみが搭載されている場合は、付属のUSB C-A変換アダプターを使用して接続してください。



より長いケーブルが必要な場合は、以下のいずれかをご使用ください：

- ✓ データ転送をサポートする長いType-Cケーブル
- ✓ USB 3.0規格に準拠したType-C to Type-A USBケーブル。

ステップ4：電源オン

すべての接続が完了したら、Innex Omniの電源をオンにしてください。Innex Omniが自動的に起動を開始し、パソコンに認識されます。

ステップ5：オーディオおよびビデオデバイスとしてInnex Omniを選択

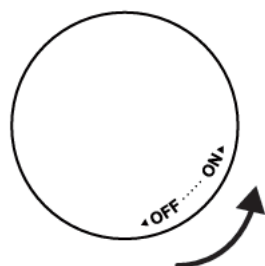
OSまたはビデオ会議アプリケーション上で、Innex Omniをデフォルトのカメラ、マイク、スピーカーデバイスとして選択してください。

Innex Omniは標準のUSBオーディオおよびビデオドライバーに対応しており、追加のドライバーインストールは不要です。

5 操作方法

5.1 基本操作

5.1.1 プライバシーカバーを使用した電源オン/オフ



上部カメラのプライバシーカバーは、Innex Omni の電源スイッチも兼ねています。

デバイスの電源をオンにするには：

- ✓ カバーに表示されている方向にプライバシーカバーを回転させてください。
- ✓ 電源オン時に逆方向に回転させると電源がオフになります。

デバイスの電源がオンになると：

- ✓ Innex Omni の起動音が再生されます。
- ✓ スピーカーのリングLED が点灯し、3 回点滅します。
- ✓ カメラステータスインジケータが赤く点灯します。
- ✓ マイクインジケータは消灯したままです。

これらのインジケータの変化により、Innex Omni が正常に電源オンされたことが確認できます。

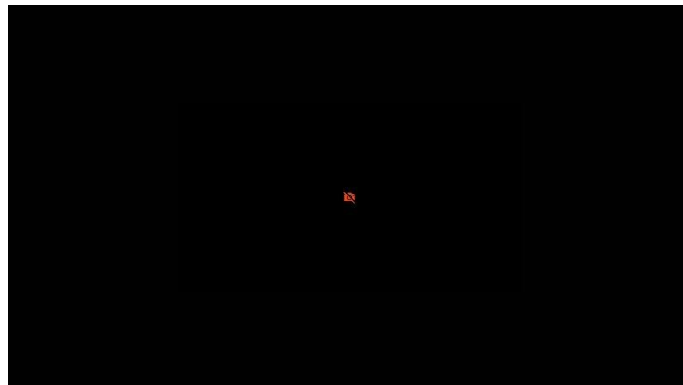
5.1.2 カメラのみのオン/オフ

カメラのオン/オフ機能は、Innex Omni のカメラ オン/オフボタン、またはリモコンのカメラ オン/オフボタンでコントロール可能です。

カメラをオフにすると：

- ✓ Innex Omni のカメラ オン/オフボタン（ステータスインジケータ）が赤く点灯します。
- ✓ Innex Omni はカメラ オフのアイコンがついた黒画面を表示し、テレビ会議の相手先などにも表示されます。

これらの表示により、カメラが正常にオフになったことが確認できます。



5.1.3 マイクのミュート/ミュート解除



マイクのミュート/ミュート解除は、Innex Omni 本体のマイク オン/オフボタン、またはリモコンのマイク オン/オフボタンでコントロール可能です。

マイクがミュートされると：

- ✓ ディスプレイの右上隅にマイクミュートアイコンが表示されます。
- ✓ デバイスのマイク オン/オフボタン（ステータスインジケーター）が赤く点灯し、テレビ会議などの相手先にも表示されます。

これらのインジケーターにより、マイクが正常にミュートされたことが確認できます。

5.1.4 スピーカーの音量コントロール

スピーカーの音量は、Innex Omni の音量 +/- ボタン、またはリモコンの音量 +/- で調整できます。

Innex Omni の LED ライトは Windows パソコンでご使用の場合、システム音量（0～100）にシンクロして変化し、8 段階で現在の音量レベルを視覚的に表示します。

5.1.5 スピーカーのミュート/ミュート解除

リモコンには、ワンタッチでスピーカーをミュートできるスピーカーミュートボタンが搭載されています。

スピーカーのミュートを解除するには、次のいずれかの操作を行ってください：

- ✓ スピーカーミュートボタンをもう一度押す
- ✓ リモコンまたはデバイスの音量+または音量-ボタンを押す。

これらの操作により、スピーカーの出力がミュート前の音量に戻ります。

5.1.6 マイク AI



マイク AI を有効にすると、Innex Omni は不要なノイズを除去し、音声の明瞭さを高めます。ノイズには以下のよ
うな音が含まれます：

- ✓ テーブルを叩く音やノック音
- ✓ キーボードのタイピング音
- ✓ 環境ノイズ（例：掃除機）
- ✓ バックグラウンドミュージック

マイク AI は人の声を優先し、会議の音声品質を向上させるよう設計されています。

会議中に音楽や効果音などの非音声オーディオを共有する必要がある場合は、これらの音が適切にキャプチャおよび
送信されるよう、MIC AI を無効にすることをお勧めします。

5.1.7 スピーカーAI



スピーカーAI は、リモート参加者からの音声に、コミュニケーションを阻害する非音声ノイズが含まれている場合
に音声の明瞭度を向上させるために設計されています。

スピーカーAI を有効にすると、Innex Omni は入力した音声から非音声をフィルタリングし、リモート参加者の
声をより明瞭に再生します。これにより音声の聞き取りやすさが向上し、会議全体の効率が改善されます。

スピーカーAI は、リモート参加者からのバックグラウンドノイズがクリアなコミュニケーションを妨げる可能性が
ある会議環境で推奨されます。

5.1.8 自動追尾 AI



自動追尾 AI は初期設定で有効になっています。有効になっている場合、Innex Omni は参加者の動きや会議中の人数の変化に基づいてカメラのフレーミングを自動的にかつ継続的に調整します。

自動追尾 AI を無効にすると、Innex Omni は一度限りの人物検出のみを行い、動きを継続的に追跡しません。この設定はギャラリーモードとオートフレーミングモードに適用されます。

人物トラッキング AI を無効にすることで、以下のようなシナリオでの不要なフレーミング変更を防止できます：

- ✓ 会議中に人がカメラの視野 (FOV) に一時的に入ってきた場合
- ✓ 参加者が着席中に細かな移動をしている場合
- ✓ 頻繁な AI によるフレーミングを引き起こす可能性があるジェスチャーや体の動き

頻繁なフレーム調整を減らすことで、リモート参加者にとって安定した集中しやすい視聴体験を維持できます。

自動追尾 AI が無効になっている状態でフレームの最適化を一度だけ再実行したい場合は、リモコンの OK ボタンを押してください。Innex Omni が参加者を再検出し、フレームを適切に更新します。

5.1.9 デュプレックスモード



デュプレックスモードは初期設定で有効になっており、双方向によるディスカッションベースの会議向けに設計されており、両側の参加者が同時に話しながら、互いの声を明確に伝えることができます。

デュプレックスモードを無効にすると、スピーカー出力レベルが約 6dB 増加します。この設定は、単一方向のプレゼンテーションや講義など、一度に 1 人の参加者しか話さない非ディスカッションシナリオでの使用に推奨されません。

適したモードを選択することで、会議の形式に基づいてオーディオパフォーマンスを最適化できます。

5.1.10 HDR

HDR は初期設定で無効になっています。

HDR は主に、Innex Omni の設置環境に大きな窓があり、強い逆光にさらされている場合など、参加者が明るい背景を背にしている会議環境を対象としています。

HDR を有効にすると、Innex Omni は画像処理をおこない、画像のバランスを調整し、高コントラストの条件下でも参加者と背景の詳細が見えるようにします。これにより、逆光などの環境での全体的な画像の明瞭度と視認性が向上します。

5.1.11 OSD ミラー

AB|BA








ほとんどのビデオ会議アプリケーションでは、ご使用のパソコン上に映る、自身のカメラからのビデオプレビューがミラー表示されることがあり、設定メニューを開いたときに OSD（オンスクリーンディスプレイ）のテキストやアイコンが反転して表示される場合があります。




ビデオ会議ソフトウェアのミラー表示時でも設定変更などを容易にするために、OMNI は OSD ミラーオプションを備えており、有効にすると、OSD が反転し、メニュー、テキスト、アイコンが正しく読みやすい向きで表示されます。

5.1.12 Innex Omni レイアウトモードの概要

Innex Omni は、さまざまな会議シナリオに対応した複数のレイアウトモードを備えております。これらのモードは、リモコンを使用してワンタッチで切り替えることができます。

各モードの詳細な説明については、次のセクションをご参照ください。

	ギャラリーモード		スピーカートラッキング
	スポットライトモード		ピクチャインピクチャモード
	オートフレーミングモード		対面モード
	フォーカスゾーンモード		

HDR	HDRオン/オフ	AB BA	OSD ミラー/ ミラー解除
	移動/調整	OK	OK
	メニュー		戻る

初期設定は下記の通りハドルスペースおよび小〜中規模の会議室向けに最適化されています。

- ✓ ギャラリーモードが選択されています。
- ✓ マイク AI が有効になっています。
- ✓ スピーカー AI が無効になっています。
- ✓ 自動追尾 AI が有効になっています。
- ✓ HDR が無効になっています。
- ✓ デュプレックスモードが有効になっています

5.2 LED 表示の説明

Innex Omni には複数の LED インジケーターが搭載されており、カメラ、マイク、スピーカー、および音声収録動作の現在の動作状態を表示、明確で直感的な視覚フィードバックを提供することにより、Innex Omni の動作状態などを素早く把握できるようにします。

LED ステータスが示す Innex Omni の動作状態は下記の通りとなります。

【カメラ オン/オフボタン】

LED 状態	動作状況
赤点灯	- カメラが PC に接続されていない、または接続されているがどのアプリケーションからも現在アクセスされていない状態。 - デバイスボタンまたはリモコンを使用してカメラがオフにされており、黒画面が表示されている状態。
白点灯	カメラがビデオ会議アプリケーションによって使用されている状態。

【マイク オン/オフボタン LED】

LED 状態	動作状況
点灯なし	カメラが PC に接続されていない、または接続されているがどのアプリケーションでも使用されていない状態。
白点灯	ビデオ会議アプリケーションによって使用状態。
赤点灯	本体上のボタンまたはリモコンを使用してマイクがミュートされている状態。

【LED リングライト】

LED 状態	動作状況
全て点滅	デバイスが起動中。

LED 状態	動作状況
セグメント点灯 (8 セグメント)	Windows パソコンでの使用時、音量調整中にシステム音量 (0~100) にシンクロして変化し、8 段階で現在の音量レベルを視覚的に表示します。
部分点滅	集音中のマイクのエリアを表示。
固定エリアのみ点灯	フォーカスゾーンモードで設定された、音声を集音するエリアを表示。

5.3 カメラモードの説明

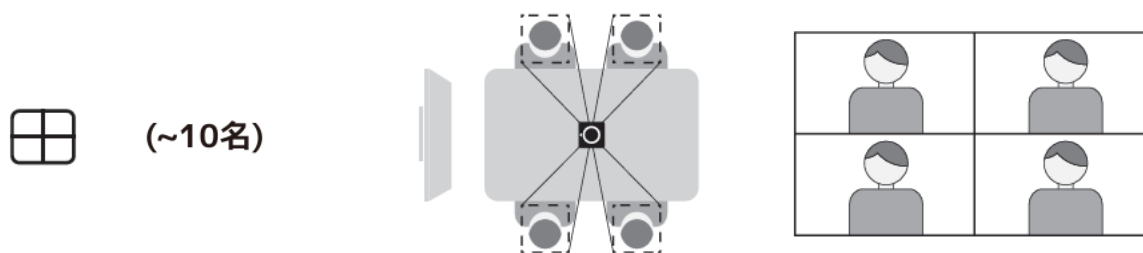
Innex Omni は AI 機能を内蔵しており、ソフトウェアのインストールや、クラウド処理に依存せずにさまざまなインテリジェントなレイアウトモードを実現します。ただし、内蔵 AI によるパフォーマンスには一定の制限があります。

AI による人物検出および自動追尾は、約 10~12 人の参加者がいる会議シナリオに最適化されています。

会議スペース内の参加者が 12 人を超える場合は、AI パフォーマンスに影響する可能性があるため、AI によるレイアウトモードの使用は推奨されません。

大規模な会議や参加者の密度の高い環境では、安定した動作を確保するために、対面モードまたはマニュアルモードの使用をお勧めします。

5.3.1 ギャラリーモード



ギャラリーモードは、画面上に最大 6 つの個別フレームを表示することができます。

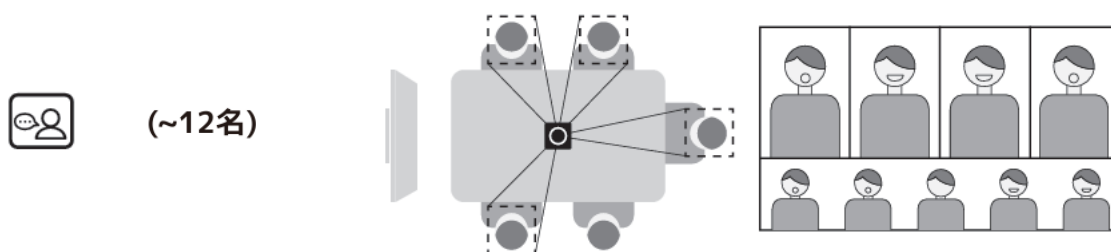
参加者が6人未満の場合、Innex Omniは会議スペース内の参加者を検出し、各参加者に個別のフレームを割り当て、より没入感のある均衡の取れた会議体験を提供します。

会議に6人を超える参加者がいる場合、または参加者間の角距離が30度未満の場合、OMNIは参加者を共有フレームに自動的に統合し、すべての参加者が6つの利用可能なフレーム内に表示されるようにします。

ギャラリーモードが有効になると、ギャラリーモードアイコンがディスプレイの左上隅に約1.5秒表示されます。

5.3.2 スピーカートラッキングモード

スピーキングトラッキングモードが有効になると、スピーキングトラッキングモードアイコンがディスプレイの左上隅に表示され、約1.5秒後に消えます。



スピーカートラッキングは、ビデオ分析とビームフォーミング音声技術を統合し、アクティブな発言者を正確に検出して追跡します。

このモードでは、ディスプレイのレイアウトは以下のように構成されます：

- ✓ 画面の下部には会議スペースの360°パノラマビューが表示されます。
- ✓ 画面の上部には最大4つの発言者のフレームが表示されます。

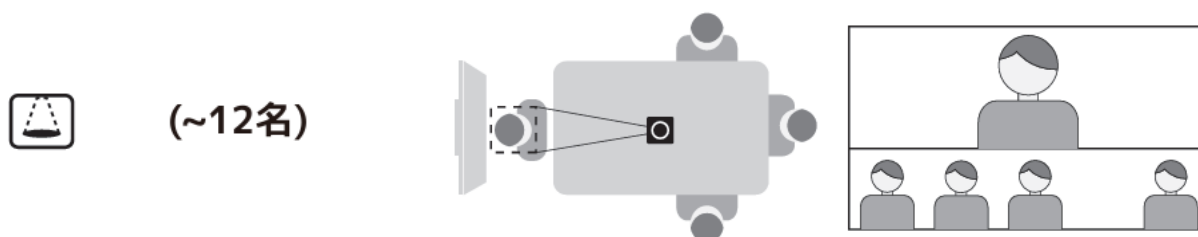
最初の参加者が話し始めると、スピーカーのビデオフレームが上部セクションに表示されます。

追加の参加者が話すにつれて、ディスプレイは2フレームから最大4フレームまで追加されます。

フレームが4つ表示されている状態時に、5人目の参加者が話し始めると、新しいスピーカーのビデオフレームが最も長く非アクティブだった参加者と入れ替わり、最も関連性の高い参加者が常に表示されます。

現在アクティブな発言者のビデオフレームは緑色の枠線で強調表示され、フォーカスされているスピーカーが明確に視覚的に示されます。

5.3.3 スポットライトモード



スポットライトモードが有効になると、スポットライトモードアイコンがディスプレイの左上隅に約 1.5 秒表示されます。

このモードは、プレゼンテーションや講義など、1 人の発表者がプレゼンテーションエリア内を動き回りながら発表するシナリオ向けに設計されています。このモードでは、カメラはビデオベースのトラッキングを使用してピンした発表者を積極的に追跡します。

ディスプレイのレイアウトは以下のように構成されます：

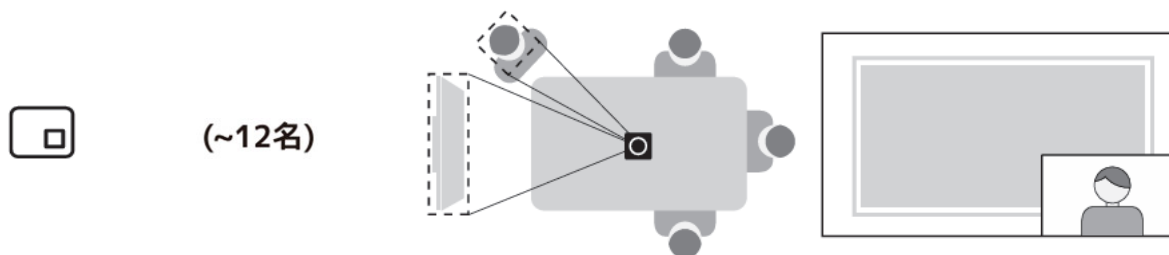
- ✓ 画面の下 3 分の 1 には会議スペースの 360° パノラマビューが表示されます。
- ✓ 画面の上部には選択した発言者が自動追尾され、表示され続けます。

スポットライトモードを有効にすると、最初に 360° パノラマビューが表示されます。画面に緑色の選択フレームが表示されます。リモコンの方向ボタンを使用して希望のスピーカーを選択し、OK ボタンを押してスポットライトモードを開始します。

スポットライトモード時に以下の事例が発生すると、安定した発表者の追尾ができない可能性があります。：

- ✓ 発表者がカメラの視野 (FOV) から上下に外れてしまう。
- ✓ スピーカーの体が他の参加者と大きく重なってしまう。
- ✓ 発表者が著しくカメラから離れてしまう。

5.3.4 ピクチャーインピクチャーモード



ピクチャーインピクチャーモードを選択すると、ピクチャーインピクチャーモードアイコンがディスプレイの左上隅に約 1.5 秒表示されます。

このモードは、ホワイトボードやプレゼンテーションエリアなど、共有コンテンツと一緒に発言者を表示する使用シーン向けに設計されています。

本モードを有効にすると、最初に 360° パノラマビューが表示されます。画面に緑色の選択フレームが表示され、リモコンの方向ボタンを使用して小窓に固定表示する参加者を選択できます。OK ボタンを押すとモードが開始されます。

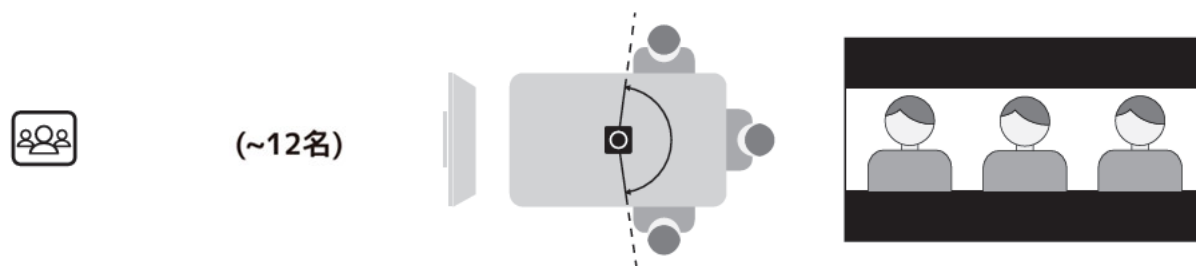
ピクチャーインピクチャーモードでは：

- ✓ メイン（大きな）ビューは、リモコンの方向ボタンを使用して位置を変更できます。
- ✓ ズームイン/ズームアウトボタンを使用して、メインビューの視野角を調整できます。
- ✓ 小窓に表示される参加者が移動した場合には自動追尾が行われます。

ピクチャーインピクチャーモード時に以下の事例が発生すると、安定した発表者の追尾ができない可能性があります。：

- ✓ 発表者がカメラの視野（FOV）から上下に外れてしまう。
- ✓ スピーカーの体が他の参加者と大きく重なってしまう。
- ✓ 発表者が著しくカメラから離れてしまう。

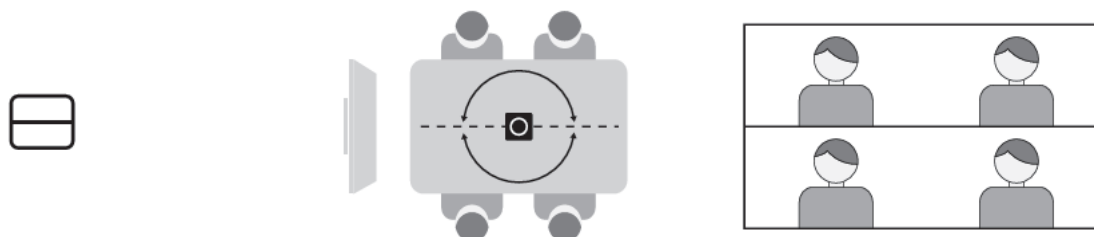
5.3.5 オートフレーミングモード



オートフレーミングモードを選択すると、オートフレーミングモードアイコンがディスプレイの左上隅に約 1.5 秒表示されます。

このモードは、Innex Omni の 360° パノラマ視野角から、会議スペースをインテリジェントに分析し、参加者がいないエリアを画像から削除し、すべての参加者がフレーム内の中央に収まるように視野および視野角を最適化します。

5.3.6 対面モード



対面モードを選択すると、対面モードアイコンがディスプレイの左上隅に約 1.5 秒表示されます。

対面モードは、交渉やディスカッションの場など、2 組の参加者が長テーブルの両サイドに向き合って着席している会議シナリオ向けに最適な非 AI モードです。

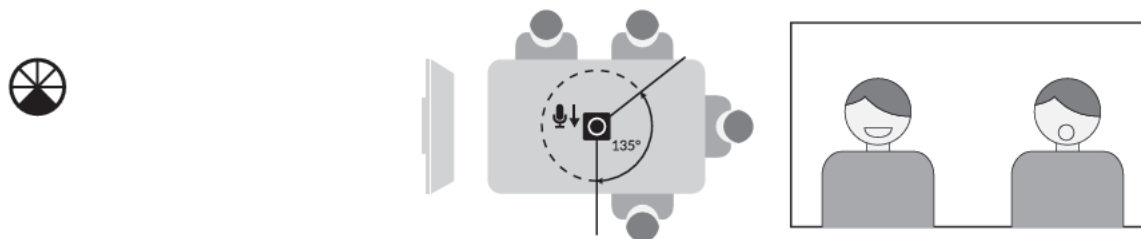
このモードでは、360° のビューが上下 2 つの 180° ビューに分割され、対面に着座している両サイドの参加者が同時に画面に表示されます。

会話モードを正しく使用するには、以下を確認してください：

- ✓ Innex Omni の電源コネクタと Type-C ポートが付いている側面が、ディスプレイまたはテレビが設置されているテーブルに向いていること。

リモコンの方向ボタンを使用して 180° - 180° の分割位置を調整可能です。

5.3.7 フォーカスゾーンモード



フォーカスゾーンモードボタンを押すと、フォーカスゾーンモードアイコンがディスプレイの左上隅に約 1.5 秒表示されます。フォーカスゾーンモードのデフォルトの音声収録角度は 90° です。

フォーカスゾーンモードボタンを押すたびに、収録角度は 90° → 135° → 180° → 90° → … の順序に切り替わります。リモコンの上下 (90° 時のみ) 左右ボタンを押して視野位置の調整を行います。

収録方向を調整すると、選択した集音エリアに応じてリング LED およびカメラのビューがリアルタイムに反映されます。

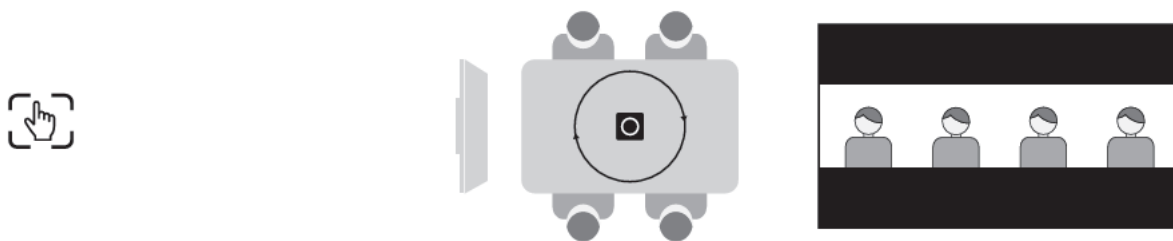
集音動作

フォーカスゾーンモードでは基本的に、「カメラが映し出すエリア」 = 「マイクが集音するエリア」になります。

ただし、収録エリア外からの声が、収録エリア内からの声より近い位置または大きい音量の場合、パフォーマンスに影響し、意図した収録エリア内の声が期待通りにキャプチャされない場合があります。

フォーカスゾーンモード角度	リング LED 表示	カメラ FOV	集音動作
90°	選択されている 90° のゾーンが点灯	選択されている 90° の視野を撮影	選択されている 90° のエリア内の声を収録
135°	選択されている 135° のゾーンが点灯	選択されている 135° の視野を撮影	選択されている 135° のエリア内の声を収録
180°	選択されている 180° のゾーンが点灯	選択されている 180° の視野を撮影	選択されている 180° のエリア内の声を収録

5.3.8 マニュアルモード



マニュアルモードは、カメラフレーミングの正確な手動コントロールを好むユーザーに最大限の柔軟性を提供します。

マニュアルモードボタンを押すと、マニュアルモードアイコンがディスプレイの左上隅に約 1.5 秒表示されます。

マニュアルモードでは、カメラの視野（FOV）を手動でコントロールできます。

マニュアルモードの初期状態では、360° パノラマビューが表示されます。リモコンのズームイン/ズームアウトボタンを使用して視野角を調整できるほか、方向ボタンを使用してパノラマビューの中心位置を調整が可能です。

マニュアルモード時に再度マニュアルモードボタンを押すと、保存された設定がクリアされ、ディスプレイが 360° パノラマビューに戻ります。

5.4 設定

リモコンのメニューボタンを押して、Innex Omni の設定メニューを開きます。

設定メニューは以下のセクションに分かれています：

- 1 ステータスバー
- 2 画像設定
- 3 ブロックゾーン設定
- 4 製品情報

リモコンの上下方向ボタンを使用すると、セクション 2~4 間を移動することが可能です。

選択したセクションに入るには、OK ボタンを押します。

現在のメニューを終了するか前のレベルに戻るには、リモコンの戻るボタンを押します。



5.4.1 ステータスバー

ステータスバーには、Innex Omni の主要機能の状態が表示され、現在のシステム設定状態を素早く把握することが可能です。

アイコンがオレンジに点灯している場合は、それら機能が有効（オン）状態であることを示します。

アイコンがグレーアウトされている場合、それら機能が無効（オフ）状態であることを示します。

5.4.2 画像設定

画像設定メニュー内で、上下方向ボタンを使用して画像設定を選択します。

選択した設定を変更するには：

- ✓ 画像設定メニューがフォーカスされた状態で、OK ボタンを押して設定モードに入ります。
- ✓ 上下ボタンで変更したい項目を決定します。
- ✓ 左右方向ボタンを使用して設定を調整します。

全ての調整が完了したら、戻るボタンを押して画像設定メニューを終了します。

5.4.2.1 画像調整

Innex Omni の画像設定は初期設定で最良の全体的なパフォーマンスが得られるよう最適化されていますが、異なる会議環境下で最適な視覚的結果を得るために、手動での画像調整が必要な場合があります。

Innex Omni では以下の項目を手動で調整することが可能です。

- ✓ 明るさ
- ✓ コントラスト
- ✓ 彩度
- ✓ シャープネス
- ✓ ホワイトバランス

各パラメーターのデフォルト値は 0 で、±2 レベルの範囲で調整できます。調整後、選択した設定は保存され、Innex Omni の電源をオフにしても、次の使用時に再び自動的に適用されます。

5.4.2.2 上下反転

天井に取り付けるなど、Innex Omni を上下逆さまに設置した場合、フリップ機能を使用して画像を 180 度上下回転させることができます。

フリップ設定を有効にすると、Innex Omni の再起動後も、画像の向きはフリップされた状態のままになります。

フリップ設定は、以下のいずれかの操作が実行されない限り、引き続き適用されます：

- ✓ 工場出荷時リセットを実行する。
- ✓ 画像設定メニューでフリップ設定を手動で変更する。

5.4.2.3 視野を保存

本設定は、Innex Omni の電源がオフになった後に、マニュアルモードと対面モードの視野 (FOV) 設定を保持するかどうかを設定します。

オンになっている場合、Innex Omni は再起動時にマニュアルモードと対面モードの最後に設定された FOV 位置を復元します。

オフになっている場合、Innex Omni は再起動後にマニュアルモードと対面モードの視野 (FOV) を初期状態にリセットします。

5.4.2.4 初期モード

初期モードは、Innex Omni の電源がオンになったときに自動的に表示されるレイアウトモードを設定します。工場出荷時の初期設定はギャラリーモードです。この設定を変更して、異なるレイアウトモードを選択することができます。

5.4.3 ブロックゾーン設定



ブロックゾーン設定では、AIによる人物の検出と追尾から除外するエリアを設定できます。この機能は、以下のよう
な環境で使用することができます。:

- 通路や入口があり、人が頻繁に通る場合
- オープンスペースでの会議時に、会議とは無関係の人の動きが頻繁にあるエリア
- 不必要な AI による人物の検出を誘発する可能性があるバックグラウンド

ブロックゾーンを設定することで、Innex Omni はこれらのエリアでの人物や動きの検出を行わないため、会議中の安定したフレーミングと不要なカメラ調整の削減に役立ちます。

ブロックゾーンの設定

設定メニューにて、リモコンの上/下方向ボタンを使用して、ブロックゾーン設定をフォーカスさせ、OK ボタンを押してブロックゾーン設定モードに入ります。再度上/下方向ボタンを使用し、ブロックゾーンにカーソルを合わせ、左/右方向ボタンを使用してブロックゾーンのオン/オフを切り替えます。ブロックゾーンを On にし、OK ボタンを押すと調整モードに入ります。上/下ボタンを使いブロックゾーンの角度、左/右ボタンを使用して、ブロックゾーンの位置を調整します。調整中には画面下部のプレビューエリアに、ブロックゾーンの現在位置と角度がリアルタイムで表示されます。ブロックゾーン設定を終了するには、戻るボタンを押して前のメニューに戻ります。

ブロックゾーン設定の保存

電源の再起動後も継続して設定したブロックゾーンを使用したい場合、上/下方向ボタンを使用してブロックゾーン設定メニューにてメモリーにカーソルを合わせ、左/右方向ボタンを使用してメモリー機能をオンにします。メモリー機能が有効になっている場合：

設定したブロックゾーンが保存され、Innex Omni の電源再起動後も適用されます。

ブロックゾーンが設定されている場合、発言者の自動追尾がアクティブなときに、360° パノラマビューに視覚的なブロックゾーンオーバーレイが表示されます。このオーバーレイは、参照用に現在のブロックゾーンエリアを示します。この機能により、ユーザーは動作中にブロックゾーンがアクティブで正しく適用されていることを確認できます。

5.4.4 製品情報



製品情報ページには、Innex Omni のシステム情報と基本的な設定オプションが表示されます。このページには以下が表示されます：

- ✓ Innex Omni のシリアル番号
- ✓ Innex Omni のファームウェアバージョン

OSD 言語

このページから OSD（オンスクリーンディスプレイ）の言語を変更することもできます。

現在サポートされている言語は以下のとおりです：

- ✓ English (英語)
- ✓ Deutsch (ドイツ語)
- ✓ Français (フランス語)
- ✓ Español (スペイン語)
- ✓ Italiano (イタリア語)
- ✓ Português (ポルトガル語)
- ✓ Polski (ポーランド語)
- ✓ 日本語
- ✓ 繁體中文 (中国語繁体)

OSD 言語を変更するには：

1. 方向ボタンを使用して言語オプションを選択します。
2. OK ボタンを押して言語リストに入ります。
3. 上/下方向ボタンを使用して希望の言語を選択します。
4. OK を押して確定するか、戻るボタンを押して前のメニューに戻ります。

工場出荷状態に戻す

デバイス情報ページでは、工場出荷時リセットを実行するオプションも提供しています。

注意：工場出荷時リセットを実行すると、OSD 言語を除くすべての設定が工場出荷時のデフォルト値に復元されます。OSD 言語は保持されます。すべてのカスタム設定がクリアされるため、この機能は慎重にご使用ください。

6 製品仕様

カメラ部

センサー解像度	8メガピクセル
カメラセンサー数	4
カメラセンサー	1/2.9" CMOS
スティッチング技術	ダイナミックリアルタイムスティッチング技術
解像度&フレームレート	3840x2160@30fps
	2560x1440@30fps
	1920x1080@30fps
	1280x720@30fps
	640x360@30fps
ビデオフォーマット	MJPEG; YUY2
最短フォーカス距離	60cm
最大視野角	水平: 360° ; 垂直: 60°
HDR	あり
イメージAI	人体検出と自動レイアウトをサポート
電源周波数帯	60Hz (初期設定)
オートホワイトバランス	あり
自動露出	あり
レイアウトモード	1. ギャラリーモード (初期設定) 2. スピーカートラッキングモード 3. スポットライトモード 4. ピクチャーインピクチャーモード 5. オートフレーミングモード 6. 対面モード 7. フォーカスゾーンモード: 90° /135° /180° 8. マニュアルモード (EPTZ)

マイク部

内蔵マイク	4マイク (DOA: 到来方向推定)
オーディオAI	AIボイスコミュニケーション

オートゲインコントロール (AGC)	あり
アクティブノイズ軽減(ANS)	あり
AI ノイズキャンセル	あり
AI ビームフォーミング	あり
遠距離音声	あり
音響エコーキャンセレーション	あり
残響除去	あり
双方向ノイズキャンセリング	あり
感度	94dB SPL @1KHZ 最小: 29, 標準: 26, 最大: 23 dBFS
信号対雑音比 (S/N 比)	65db
集音距離	80dp 最大 5m
周波数帯応答	40Hz~20KHz (AEC およびマイク AI オフ時) 40Hz~8KHz (AEC およびマイク AI オン時)

スピーカー部

最大出力	3W x 2
感度	92 ± 3dB@0.5m
スピーカーインピーダンス	4 Ω
スピーカー周波数範囲	100Hz~20KHz (スピーカーAI オフ時) 100Hz~8 KHz (スピーカーAI オン時)

I/O ポート

DC 入力端子	1
USB-C	1 (3.0)

その他

電源仕様	12V 1.5A (最大)
タッチボタン	1. カメラ オン/オフ
	2. マイク オン/オフ
	3. 音量+

	4. 音量 -
製品外形寸法	140 x 140 x 380mm
製品質量	930g
Kensington ナノスロット™	あり
パッケージ内容	Innex Omni 本体 専用リモコン x1 電源アダプター (マルチプラグタイプ) 1.5m DC - USB-C (12V) 変換アダプター x1 USB C-C ケーブル 1.5m x1 クイックスタートガイド x1 保証書 x1 安全と保証に関するお知らせ x 1

製品に関するご質問は下記のリンクからよくあるご質問をご確認ください。

<https://funtechinnovation.com/ja/faq/>